

CIM 講演会 2017 開催企画

土木学会 土木情報学委員会
建設 3 次元情報利用研究小委員会

1. 目的

国土交通省が推進している CIM は、平成 24 年度から試行業務、平成 25 年度から試行工事が行われ、導入の効果や課題を検証してきました。そして昨年度末には、CIM 導入ガイドラインが公開され、今後は具体的な要領をもとに、より広く CIM の活用が進んでいくものと考えられます。CIM は社会インフラの調査計画～維持管理にわたる全体最適化を図るものであり、膨大な社会インフラの老朽化や建設業の労働者不足などから、非常に重要といえます。

一方、平成 28 年度よりスタートした i-Construction は、昨年度導入された ICT 土工に続き、今年度は ICT 舗装、ICT 浚渫工が導入されます。i-Construction によって、施工段階で 3 次元モデルを活用する動きが急速に進んでおり、CIM で進めている全体最適化のサイクルを後押しするものと予想されます。

CIM や i-Construction は、建設業における従来の仕事のやり方を変革するものであり、これらを成功させるためには、様々な立場の方々に広く、本質を理解して頂く必要があります。このため、土木学会では、平成 25 年度から全国で CIM に関する講演会を開催してきましたが、今年度もより一層の普及を目指し、CIM 講演会を企画いたしました。

2. 主催

公益社団法人土木学会 土木情報学委員会 建設 3 次元情報利用研究小委員会

3. 後援(依頼中)

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局(沖縄会場)、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、公益財団法人日本建設情報技術センター、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人建設コンサルタント協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人全国建設業協会、一般社団法人オープン CAD フォーマット評議会、一般社団法人 沖縄県測量建設コンサルタント協会、一般社団法人 Civil ユーザ会

4. 協賛(募集中)

スポンサー企業(国内外の CIM、i-Construction を支援するハードウェアベンダー、ソフトウェアベンダー等)

5. 参加費

無料

6. 予算・スポンサー募集

会場費、講師旅費、運営補助外注費、講演集印刷費など運営に関わる費用は、協賛スポンサーらの費用で賄います。

国内外の CIM、i-Construction を支援するハードウェアベンダー、ソフトウェアベンダー等からスポンサーを募集します。

7. CPD

土木学会認定プログラム(予定)

地盤工学会、全国土木施工管理技士会連合会、農業農村工学会、建設コンサルタント協会に登録頂くための「CPD 申請書・受講証明書」も用意。

8. プログラム内容と講演者(予定)

10:00	開会挨拶	土木学会
10:05	CIM入門(35分)	Civil ユーザー会
10:40	具体的手法の紹介(20分×4)	ハードウェアベンダー、ソフトウェアベンダー、他
12:00	休憩(60分)	
13:00	CIM・i-Constructionの取り組み(60分)	国土交通省本省 国土交通省地方整備局(沖縄以外) 沖縄総合事務局(沖縄のみ)
14:00	地方自治体等におけるCIM・i-Constructionの取り組み	地方自治体、他
14:30	休憩(15分)	
14:45	CIMガイドラインの現場適用(40分)	土木学会(普及検討分科会)
15:25	調査・設計における取り組み事例(45分)	建設コンサルタント、測量会社、他
16:10	施工における取り組み事例(45分)	建設会社、他
16:55	閉会挨拶	土木学会

※ 会場によって内容・時間枠が異なる場合があります。

9. 開催日程

時期は、6月～2月。会場は、各地方整備局所在地、沖縄、計10会場以上。

No.	開催日	場所	会場	定員
1	6月27日	東京	中央大学 駿河台記念館	350
2	7月4日	仙台	せんだいメディアテーク スタジオシアター	180
3	7月19日	福岡	天神ビル 会議室 10号	270
4	7月26日	大阪	西日本建設業保証株式会社 貸会議室 801	254
5	8月4日	札幌	ACU SAPPORO 大研修室 1606	150
6	8月24日	名古屋	ウインクあいち 1002号室	150
7	9月26日	広島	サテライトキャンパスひろしま(岡野)	200
8	10月6日	高松	サンポート 54会議室	120
9	10月27日	金沢	石川県地場産業振興センター	192
10	11月2日	沖縄	沖縄県立博物館 講座室	100
11	未定	未定	未定	未定

※ 状況に応じて追加

10. CIM 講演会の受付、集客について

土木学会土木情報学委員会 HP にて案内

(<http://committees.jsce.or.jp/cceips16/>)

募集案内文の作成・登録は、小委員会小委員長、副小委員長、普及検討分科会が行います。

集客は、土木学会および後援組織、スポンサー企業が行います。

11. CIM 講演会の内容と講演者への依頼書作成担当

CIM 講演会の内容の計画、講演者への依頼は、小委員会小委員長、副小委員長、普及検討分科会が行います。

以上